

実践例 栃木県立特別支援学校宇都宮青葉高等学園

日時 12月1日（金）9：00～9：50（1時限目）

教科・科目等 職業科・LHR（1学年・8名）

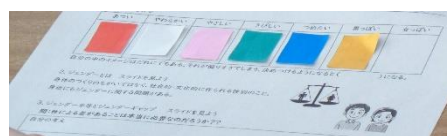
実施時間 1時間

教材 人権の窓（小学生上学年用）、人権の窓（中学生用）



活用場面 1時間

- 各自がもつ、「あつい」「やわらかい」…「男っぽい」「女っぽい」などのイメージについて、折り紙の様々な色に当てはめることを通して、自分の中にある偏りや固定観念に気づく。



- ジェンダーギャップ指数等で日本の現状と課題を確認する。（小学生上学年用）
※他の学校の実践例と同じスライドです。
- 「呼び方を変えると」から、職業上の男女差について学習する。（中学生用）

呼び方を変えると「トラックの運転手」

下の表現について「しっくりくる」か「しっくりこない」か考えよう！

トラック運転手のおじさん

しっくりくる しっくりこない

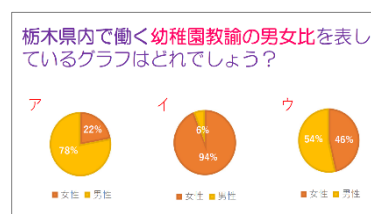
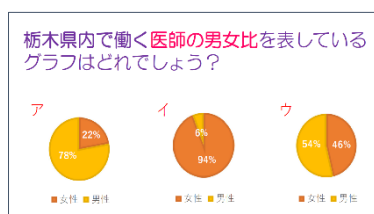
呼び方を変えると「トラックの運転手」

下の表現について「しっくりくる」か「しっくりこない」か考えよう！

トラック運転手のおばさん

しっくりくる しっくりこない

- 「栃木県の職業別男女比」の円グラフを読み取り、栃木県内の職業における男女比の偏りを知る。（小学生上学年用）



- 社会人としてよりよく働き、自分らしく生きるためにはどのような社会を実現する必要があるか、各自で考え、発表する。
- 上記のような社会を実現するために、自分はどのように行動していくべきか、各自で考え、発表する。

※特別支援学校は、生徒の実情や各校の特色に応じて、各校種用の教材を適宜御活用ください。